

数字でみる詐欺被害

※令和元年度実績

■被害額（北海道全体）

約**3億880万円**

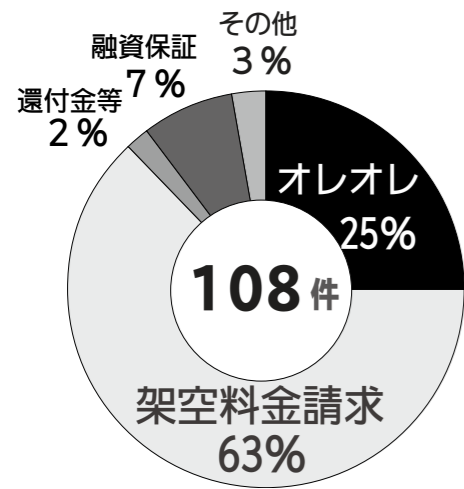
（うち千歳警察署管内 **約331万円**）

■認知件数（北海道全体）

108件

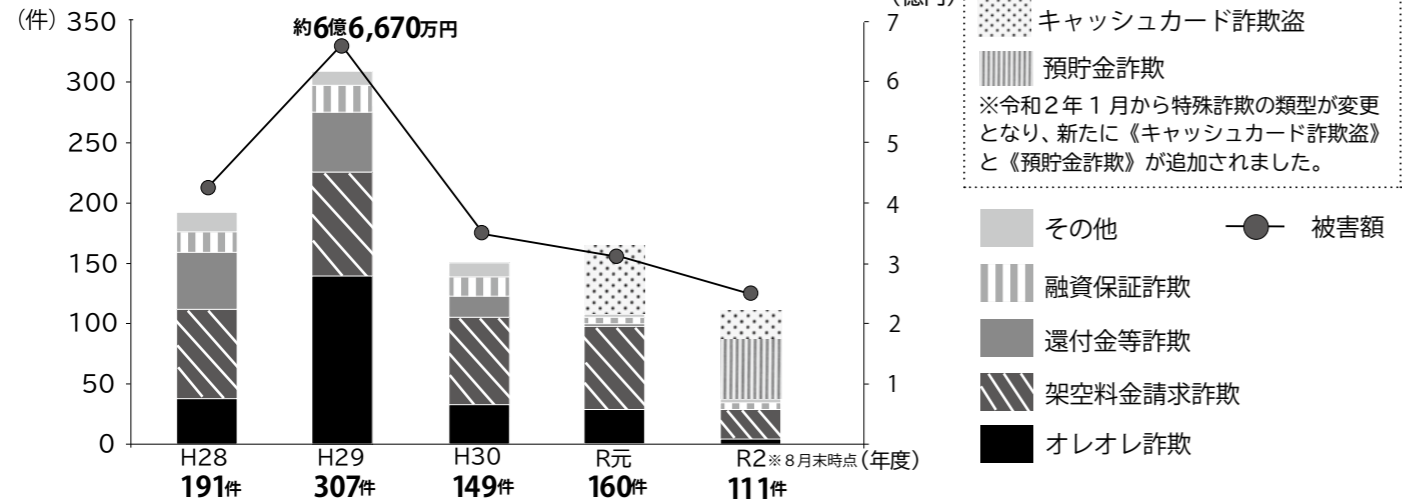
（うち千歳警察署管内 **3件**）

■認知件数の内訳



※被害額・認知件数ともに《預貯金詐欺》、《キャッシュカード詐欺盗》は含まれていません。

■認知件数と被害額の推移（北海道全体）



※認知件数…警察に被害届が出された件数。実際はまだ多くの被害があると考えられます。

特殊詐欺とは

特殊詐欺とは、犯人が不特定多数の人に対して、電話やメール、はがきなどの通信手段を使い公共機関の職員を名乗り、現金やキャッシュカードなどをだまし取る詐欺盗のことです。特殊詐欺は、10種類に分類され、代表的なものに《オレオレ詐欺》、《架空料金請求詐欺》、《還付金等詐欺》、《融資保証金詐欺》があります。これら4つをまとめて、《振り込め詐欺》と呼んでいます。令和元年度の道内における特殊詐欺の被害総額は、108件で約3億880万円。前年度の149件で約3億4680万円からは減少しました。認知件数（※）も41件

急増する預貯金詐欺

今年度の道内の詐欺被害の認知件数は111件で、被害額は約2億4800万円となっています（8月末現在）。特に、急増している手口は、警察官や銀行員を名乗り「あなたの口座が不正利用されている」などと言って、暗証

特殊詐欺に関心をもつ

普段から気をつけている人でも、簡単には見破れない巧妙な手口にだまされてしまいます。被害を防止するには、「社会全体が特殊詐欺に関心をもつこと」が大切です。自分を守る、地域を守るために、特殊詐欺の現状を知り、対策を考えましょう。

番号やキャッシュカードをだまし取る《預貯金詐欺》や、隙を見てキャッシュカードをすり替えて盗む《キャッシュカード詐欺盗》です。今年度の千歳警察署管内の被害はすべて《預貯金詐欺》で被害額はすでに前年の約331万円を超え、約878万円となっています。

特集 狙われています。あなたの大切なお金と情報

詐欺被害から自分を守る、地域を守る。

10月11日から20日までの10日間、《全国地域安全運動》が実施されます。今年の重点運動のひとつに《特殊詐欺の被害防止》があります。最近では新型コロナウイルス感染拡大に便乗した詐欺と思われる不審な電話が発生しています。今月の特集では、千歳警察署の協力を得て市民の皆さんの暮らしを脅かす《特殊詐欺》や《悪質商法》について紹介します。被害にあわないために「自分ができること」「地域ができること」を考えます。

オレオレ詐欺 融資保証金詐欺 還付金等詐欺 架空料金請求詐欺



※イラストは千歳警察署の特殊詐欺撲滅ポスターに採用された吉武華姫さんの作品です（6ページ参照）。

Interview ①
警察に聴く

警察では、巧妙化・複雑化する詐欺の手口を分析し対策を講じています。被害にあわないために、どのような点に気をつけるのがいいか、千歳警察署生活安全課長に話を聴きました。



千歳警察署 生活安全課
山崎 哲也 課長
Yamazaki Tetsuya

キャッシングカードは、「渡さない」
暗証番号は、「教えない」

特殊詐欺の認知件数は、全道で見ると、横ばいですが、昨年から今年にかけて《預貯金詐欺》や《キャッシングカード詐欺》が急増しています。これらの詐欺被害はキャッシングカードをだまされたり、盗まれたりすることで口座の中の現金がすべて引き出されてしまい、被害金額は大きくなります。犯人は《だましのプロ》で、

被害にあわないためには、《犯人と接触しない》《話さない》《電話をしない》《留守番電話を利用する》《防犯機能の効果を高める》《効果的対策を講じている》《犯人はあの手この手で接触してきます。もし、お金やキャッシングカード、暗証番号を要求する内容の電話があれば、詐欺だと思つて一人で判断せずに、家族や友人、警察に相談してください。少しでも不審に思つたら迷わずご連絡ください。一人一人ができる対策は、詐欺の手口に関心を持つていただき対処方法などの知識を

高めることです。そのために千歳警察署では、出前講座出張していますので、ぜひご利用ください（左下参照）。一人で詐欺犯と対峙するのは大変ですが、周囲の《絆》で防ぐことができます。日ごろから家族で連絡を取りあひ詐欺について話しあつたり、合言葉を決めたりするなど家族の結束を強めることが大切です。また、家族だけでなく、地域で声を掛けあひ絆を大切にしていれば、地域内の異変にすぐ気がつき、犯罪に強いまちになります。犯人が「千歳で犯行するのは難しい」と思うような地域の絆づくりをめざしましょう。

疑問・不安を感じたら相談を
警察総合相談窓口
#9110

ほくとくん防犯メール 登録はコチラ↓
北海道警察では、犯罪から身を守るために必要な「犯罪発生・防犯対策情報」などを希望者にメールで配信するサービスを行っています。

詐欺犯との接触を避けるために《留守番電話》や《防犯機能付き電話機》を活用しましょう！
録音されると証拠が残るため、詐欺犯は留守番電話を嫌います。在宅中も留守電に切り替えておきましょう。



「詐欺かもしれない」と気づくアンテナを張る

だまされないためには、手口を《知る》必要があります。代表的な特殊詐欺の手口について、注意が必要な言葉や対策のポイントを紹介します。

オレオレ詐欺

息子や孫、警察官などになりすまし、トラブル処理や解決を口実に費用をだまし取る。



！ すぐにお金を振り込まず、一度電話を切りましょう

還付金等詐欺

公的機関や市の職員を名乗り、還付金や給付金の支給を装い、ATM（現金自動預払機）を操作させお金をだまし取る。



！ 公的機関がATMの操作を求めるとは絶対にありません

架空料金請求詐欺

ハガキやインターネットなどを利用し、架空サイトの利用料を請求したり、訴訟解決などを口実に費用をだまし取る。



！ 身に覚えがない請求に応じるのはやめましょう

融資保証金詐欺

FAXやインターネットなどで融資を持ちかけ、保証金や手数料名目でお金をだまし取る。



！ 安易に融資を申し込まず、事前に誰かに相談しましょう

被害急増 キャッシュカードを狙う詐欺

高額医療費の還付があります。キャッシュカードが古いので交換にいきます。

預貯金詐欺
キャッシュカードを受け取りだまし取る

あなたの口座が犯罪に使われています。口座が悪用されないように、口座を止めますので、暗証番号を教えてください。

自宅を訪問

キャッシュカード詐欺盗
印鑑などを取りにいかせ、隙を見て偽カードの入った別の封筒とすり替えて、盗む

！ 金融機関職員や市職員がキャッシュカードや通帳を取りに自宅に行くことは絶対にありません。

もっと詳しく聞きたい方は出前講座で

「特殊詐欺」に注意！講習会

市は、くらしに役立つ知識を身につけ、情報の共有やネットワークづくりを行うため、出前講座「特殊詐欺に注意！講習会」を行っています。特殊詐欺の最新手口の紹介や、対処方法について学びます。



5人以上から

【申込・詳細】市民生活課 防犯・交通安全係
☎(24)0263 FAX (27)3743

犯人は、巧みな話術で被害者の判断を鈍らせたり、相談できない状況を作り出します。被害にあわないためには、家族や地域など周りの助けが必要です。ここでは実際に高齢女性を被害から守った2人に話を聞きました。

詐欺被害を未然に防止した人の声

特殊詐欺を未然に防止

平成30年8月22日、千歳北栄郵便局で現金を引き出そうとした80歳代の女性を窓口で対応した社員の村川 知佳さんは、話の内容から詐欺被害にあっているのではないかと考えました。すぐに現金を引き出すことを止め、千歳警察署に通報しました。その後、女性は北海道銀行千歳支店にも訪問し、その場でも女性が詐欺被害にあっていると確信した同銀行社員の佐藤 幸子さんは、同署に通報しました。二人は積極的な声かけと冷静な対応により、特殊詐欺の兆候を見逃さず、女性の貴重な財産を守りました。



千歳北栄郵便局 社員 村川 知佳 さん Murakawa Chika

自信をもってお声かけをする

当時、そのお客さまはすごく焦っている様子で、「しばらく会っていない息子に会うからお金をおろしたい」と言い、話の内容も二転三転していたので、詐欺にあっているのではと思いました。特殊詐欺の対応は、はじめての経験でしたが、改めてどこでも起きるものだ実感しました。この件で、私たちだけでなく地域の皆さんも詐欺が他人ごとではないと感じていただけたので、これまで以上に自信をもってお声かけができるようになりました。今後もお客様とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思ひます。

異変に気づけるよう常に意識する

高額の現金を引き出したり、振り込んだりするお客さまには失礼がないよう、使いみちをお聞きするようにしています。話の内容から不審な点がありましたので、丁寧にお話を聞き、落ち着いてもらうことを心がけました。窓口業務は、正確にスピード感を持って処理することが大事ですが、淡々と業務をこなすだけであれば流れ作業になりお客さまの異変に気づくことができないと思ひます。今後も少しでも不審な点があれば積極的にお声かけをして、お客さまの異変に気づくことができるよう、意識しながら業務に臨みたいと思ひます。



北海道銀行千歳支店 社員 佐藤 幸子 さん Sato Sachiko

吉武 華姫 さん

Yoshitake Hanabi 特殊詐欺撲滅のためのポスターをデザインし、千歳警察署長から《犯罪抑止活動功勞》が贈られました。



イラストは黄色と黒色の警戒色で《特殊詐欺撲滅宣言》の文字を目立つように真ん中に配置しました。警察の良いイメージと詐欺犯の悪いイメージを色を変えて対比させ、詐欺犯が一番言葉に出しそうな、「暗証番号」や「キャッシュカード」などのフレーズを入れました。このポスターが誰かの気づきになり、詐欺被害防止の手助けになれば嬉しいです。



詐欺だけじゃない、増える悪質商法

私たちは、毎日、《契約》をして生活しています。残念なことに、消費者をだまそうとする悪質な業者がいて、毎年多くの被害が発生しています。安心して消費生活を送るための方法について千歳市消費生活センター職員に話を聞きました。



千歳市消費生活センター 消費生活専門相談員 綾部 しのぶ さん Ayabe Shinobu

を意識し、購入する前によく考えることが大切です。被害を未然に防ぐ方法として、「突然、訪問してくる業者を家に入れない」、「突然電話してくる業者は注意する」などその場ですぐに《契約》しないで、家族や友人に相談することが重要です。

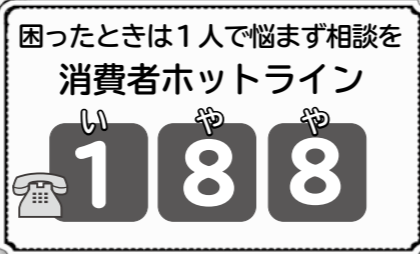
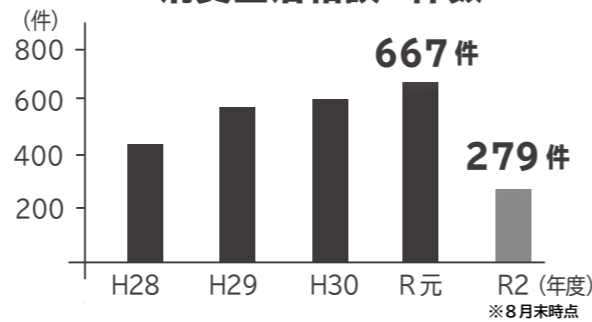
その場ですぐに《契約》しない

消費生活センターは、商品やサービスを購入して被害にあった人から相談を受け、トラブルの解決に向けた助言などの支援をします。もし、トラブルにあつてしまつたら、なるべく早く相談をお願いします。状況によっては、返品や返金ができないこともあるので、困つたことや気になることがあれば可能な限り、契約前に相談をお願いします。

最近では、インターネットなどを利用し、お試しのつもりで健康食品や化粧品を購入したところ、実際は複数回支払わないといけない《定期購入》だったという相談が多く寄せられています。インターネット広告で「初回100円」などの魅力的な言葉は要注意です。広告や契約内容をよく読んで購入を検討しましょう。悪質商法や消費者トラブルは内容によっては相談する勇氣が必要だと思ひますが、一人で抱え込まず、消費生活センターにご相談ください。

千歳市消費生活センター ☎(24)0193 (平日 9:00 ~ 17:00)

消費生活相談の件数



※最寄りの消費生活センターにつながります。

要注意

2022年4月1日から成年年齢が18歳になり、親の同意なしで契約ができます

社会経験の少ない若者を悪質商法から守るため、未成年者の契約は親の同意が必要です(少額契約を除く)。悪質業者は、親の同意が不要で、契約を取り消すことができない《新成人》を狙います。2022年4月からの新成人は、特に注意が必要になります。

契約前にチェック

コンビニで買い物するのも契約です

- それは本当に必要なものですか
□ 似たような商品と比較・検討しましたか
□ 支払い総額(税金・手数料など)を確認しましたか
□ 返品はできますか。返品の条件は確認しましたか
□ 契約内容を隅々まで確認し納得しましたか
□ 保証期間・保証内容を確認しましたか
□ 解約するときの条件を確認しましたか
□ 金利・支払い回数、合計金額は確認しましたか

消費者を守る《クーリング・オフ》

《クーリング・オフ》とは、消費者が契約した後でも、冷静に考え直す時間を与え、一定期間内であれば違約金を支払わずに無条件で契約を解除できる制度です。訪問販売など不意打ち的な販売方法や仕組みが複雑で契約内容を理解するのが難しい取引などが対象です。

クーリング・オフができるおもな取引と期間

Table with 2 columns: 取引内容 and 期間. Includes items like 訪問販売 (8日間), 電話勧誘販売 (8日間), 特定継続的役務提供 (8日間), etc.